

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達支援センター ココイク		R8 年 5月 29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1		訪問先の状況や、児童の状況に合わせて、適宜必要と思われる対応やツールを紹介しています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		1	職員の配置数の要因から、利用希望のケースをお断りしてしまったことがあります。	昨年度同様の課題であるものの、保育所等訪問支援に対応することが出来る知識や技量を有するスタッフを養っていく必要がある。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1			・当該スタッフ・センター長・主任にて日々の振り返り・目標共有の時間を設けています。今後も質の高い振り返りの時間になるよう改善を図っていきます。 ・月に1回、全スタッフでの会議を実施し、課題や目標の共有を行います。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		年に一度の自己評価に加え、行事の際など、日々の療育に関するアンケートを実施し、スタッフ間にて共有しています。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		普段の訪問後の振り返り（従業員・センター長・主任など）、月に1回の職員会議、年に一度の自己評価アンケート、振り返り面談時に意見を聴取し、業務改善に繋げています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1		第三者委員によるセンターの事業状況の報告や、訪問を行っています。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1		適宜、必要な研修へ参加している。	・スタッフからの要望や、機関からの案内、研修計画等に基づいて研修を実施しています。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1			・日々の児や保護者のニーズを反映させるように意識して関わってはいるものの、タイムリーな支援計画の作成までつながっていないこともある。 ・ニーズや課題に応じた支援計画を適宜作成していきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1		従業員に加え、センター長・主任・専門職も参加し、ニーズや強みを考慮した個別支援計画案・計画を作成しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1		・利用にあたっては、校長先生や園長先生、担当の先生とご一緒に、保育所等訪問支援の趣旨や実施の方法をご説明・ご相談させて頂いてからのご利用とさせて頂いています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1		・独自のアセスメントシートも活用しながら、利用児の状況把握に努めている。 ・標準化されたアセスメントツールの使用もおこなっているが、全利用児に適していない事もあり、全員に実施する難しさがあるものの、より具体的にアセスメントを行えるようになってきている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1		・利用にあたっては、校長先生や園長先生、担当の先生とご一緒に、保育所等訪問支援の趣旨や実施の方法をご説明・ご相談させて頂いてからのご利用とさせて頂いています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1		利用にあたっては、校長先生や園長先生、担当の先生とご一緒に、保育所等訪問支援の趣旨や実施の方法をご説明・ご相談させて頂いてからのご利用とさせて頂いています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1		半年に1回のモニタリングを必須としています。 また、訪問後には適宜、保護者様と連絡を取り、訪問内容の報告やニーズの確認を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1		主に担当が参加しています。参加した者が記録し全スタッフに回覧しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1		関係機関とも連携を図っています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1		会議や家族を通じて共有をおこなっています。 当センターの児発・放デイを利用している対象者については、クラス担任も同行し一緒に情報提供を行っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1		児発管・主任が参加し、議事録を回覧し情報共有をしています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	1		必要に応じて、電話連絡などでも家族へ情報を引き継ぐようにしています。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1		保護者対象・支援者対象のペアレントプログラムを案内し、実施している。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1		契約時に児発管より説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1		利用にあたっては、校長先生や園長先生、担当の先生とご一緒に、保育所等訪問支援の趣旨や実施の方法をご説明・ご相談させて頂いてからのご利用とさせて頂いています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1		適宜アセスメントを実施し、本人・ご家族のニーズをもとに支援内容を設定しています。	なるべくタイムリーに聞き取りを行うように心がけているが、保護者によっては情報共有の頻度や質に差がある状況。場の設定を適宜行い、意向の共有を図っていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1		個別支援計画作成時に児発管より説明を行い、同意を得ている。また、半期に1度モニタリングの機会も設定している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1		・お子様や保護者の状況を察知し、適宜、迅速に相談内容に応じたスタッフが対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1		児発・放デイにおいてクラス毎に開催しています。併用利用をして頂いているご家庭では、きょうだい支援・家族支援にも繋がると考え、ごきょうだいや祖父母への参加も呼びかけしています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		事業所事務所で管理しています。	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1		必要に応じて、適宜有効なツール（マカトンサイン、絵カード、お話ブックなど）を紹介している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1		訪問支援後に、担任の先生やご家族と一緒に会議を行っています。ご家族・本人、担任の先生のニーズを再確認し、支援時の状況や必要と考える支援内容を共有しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1		訪問支援後に、担任の先生やご家族と一緒に会議を行っています。ご家族・本人、担任の先生のニーズを再確認し、支援時の状況や必要と考える支援内容を共有しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1		事業所事務所内で管理。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1		・隣接する法人の母体と連携し、防犯情報を共有し対策を図っています。 ・各種マニュアルを作成し、保護者にも閲覧し頂けるよう対応しています。 ・また、定期的に訓練を実施し、職員間で課題などを共有し、有事に備えています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1		・安全計画に伴う研修・訓練を実施し、スタッフ間の周知、質の向上を図っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1		・保育所等訪問支援時には当該事象はありません。 ・センターにてヒヤリハットノートの作成、毎朝のミーティングや職員会議にてスタッフで共有し、事故の予防に努めている。また、事故の際には事故報告書を作成し、今後の対策を検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1		・センター内で研修やアンケート調査を実施し、意識の向上を図った。 ・特性に沿った児との関わりや、支援に関する研修など、スタッフに参加を促がしている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1		契約書に記入されている項目である為、契約時に家族に説明しています。	